

## エスユーエス (コード 6554)

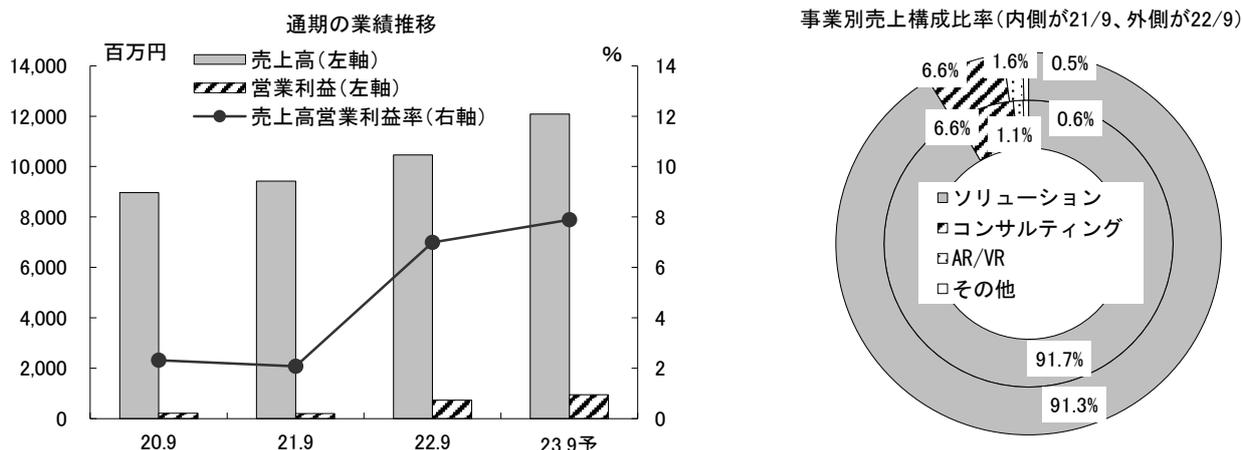
### ◆業績推移(連結) (23.9 予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	1株益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
20.9	8,967	208	30.8	7.0	327	▲301	▲265	1,794
21.9	9,419	195	50.9	7.0	473	69	▲61	2,275
22.9	10,465	731	35.8	予15.0	635	▲100	▲78	2,731
23.9 予	12,079	953	69.3	25.0	—	—	—	—

### ◆各決算期の第2四半期業績推移(連結) (23.9 予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
20.9	4,578	340	24.9	0.0	191	▲204	▲242	1,778
21.9	4,658	98	28.9	0.0	149	▲20	▲67	1,856
22.9	5,121	396	11.8	0.0	269	13	▲69	2,489
23.9 予	5,653	419	29.6	0.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



**22年9月期の業績概況**…22年9月期の業績は、売上高 104 億 6,500 万円 (21年9月期比 11.1%増)、営業利益 7 億 3,100 万円 (同 275.0%増)、経常利益 8 億 600 万円 (同 24.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 (以下、当期純利益) 3 億 1,600 万円 (同 29.5%減) となった。主力のソリューション事業をはじめ、コンサルティング事業、AR/VR 事業が好調に推移し、売上高は会社設立以来初の 100 億円を超えとなった。利益面では、抑制していた採用の再開により、採用広告費を中心に販売費及び一般管理費が増加 (同 10.4%増) したものの、コロナ禍の影響を受けていた稼働率が回復し、営業利益は 20 年 9 月期、21 年 9 月期から大きく回復した。営業外収益における助成金収入の減少 (同 85.2%減) を吸収して経常利益も 2 ケタの増益率を確保。営業利益、経常利益は過去最高益となった、子会社クロスリアリティなどにかかる減損損失 2 億 1,200 万円を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は減益となった。1 株当たりの年間配当金は 15 円 (21 年 9 月期実績比 8 円増) の予定となっている。

セグメント別の売上高については、ソリューション事業が 95 億 5,000 万円 (21 年 9 月期比 10.5%増)、コンサルティング事業が 6 億 9,100 万円 (同 11.0%増)、AR/VR 事業が 1 億 6,800 万円 (同 69.9%増)、その他が 5,500 万円 (同 0.8%減) に。また、セグメント利益については、ソリューション事業が 7 億 4,300 万円 (同 121.0%増)、コンサルティング事業が 9,500 万円 (同 36.6%増)、AR/VR 事業が 8,700 万円の損失 (21 年 9 月期は 2 億 2,500 万円の損失)、その他が

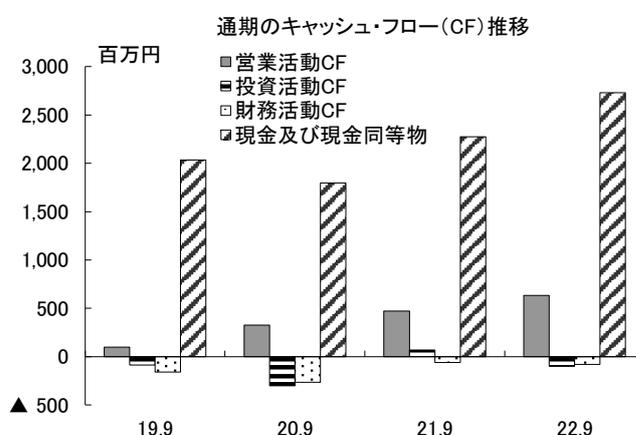
1,900 万円の損失（同 1,400 万円の黒字）となった。

ソリューション事業では、1 時間当たりの平均派遣単価が 3,378 円（21 年 9 月期比 1.4%増）に上昇したことに加え、採用活動の再開によって期末の在籍技術社員者数は 1,546 人（同 4.2%増）に増加。IT 分野が増収分のほとんどを占めた派遣売上は 84 億 6,800 万円（同 7.8%増）に拡大した。請負売上についても、IT 請負、製造請負ともに好調に推移し、10 億 8,100 万円（同 37.2%増）に伸長した。

コンサルティング事業では、ビジネスコンサルティングサービスの減収で HR コンサルティング売上は 3,600 万円（同 8.3%減）となった一方、SAP のクラウド系基幹システム導入を中心に好調に推移し、IT コンサルティング売上は 6 億 5,400 万円（同 12.3%増）に拡大した。

AR/VR 事業では、内部の人財育成に注力した AR/VR アカデミー売上は 500 万円（同 39.2%減）となったが、VR ツアーや仮想空間上のコミュニケーションツールなどを受注した AR/VR ソリューション売上は 1 億 1,600 万円（同 73.9%増）に伸長。災害復旧や画像認識に関する受注を獲得した AI 関連の売上も 4,600 万円（同 99.5%増）に増加した。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物残高は 27 億 3,100 万円（21 年 9 月期末比 20.0%増）に増加した。営業活動 CF では、税金等調整前当期純利益が 5 億 9,300 万円（21 年 9 月期比 8.2%減）、減価償却費が 8,000 万円（同 32.2%減）、減損損失が 2 億 1,200 万円（21 年 9 月期は 200 万円）、売上債権の増加額が 1 億 6,600 万円（21 年 9 月期比 39.5%増）、法人税等の支払額が 2 億 2,800 万円（同 7.0%増）となったことなどにより、営業活動による収入は 6 億 3,500 万円（同 34.2%増）に増加した。投資活動 CF では、定期預金の純減額が 3,000 万円（同 72.0%減）、有形固定資産の取得による支出が 3,000 万円（同 87.5%増）、無形固定資産の取得による支出が 500 万円（同 84.8%減）、差入保証金の差入による支出が 1 億 100 万円（21 年 9 月期は 100 万円未満）となったことなどにより、投資活動による支出が 1 億円（同 6,900 万円の収入）に。財務活動 CF では、配当金の支払額が 6,100 万円（21 年 9 月期比 0.4%増）となったことなどにより、財務活動による支出は 7,800 万円（同 27.9%増）となった。



**23 年 9 月期の業績見通し**…23 年 9 月期の業績については、売上高 120 億 7,900 万円（前期比 15.4%増）、営業利益 9 億 5,300 万円（同 30.3%増）、経常利益 9 億 5,100 万円（同 18.0%増）、当期純利益 6 億 1,400 万円（同 94.2%増）の見通しで、1 株当たりの年間配当金は 25 円の予定。

セグメント別の売上高予想については、ソリューション事業が 108 億 4,600 万円（同 13.6%増）、コンサルティング事業が 7 億 8,200 万円（同 13.2%増）、AR/VR 事業が 3 億 2,600 万円（同 94.0%増）、その他が 1 億 2,300 万円（同 121.5%増）となっている。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。